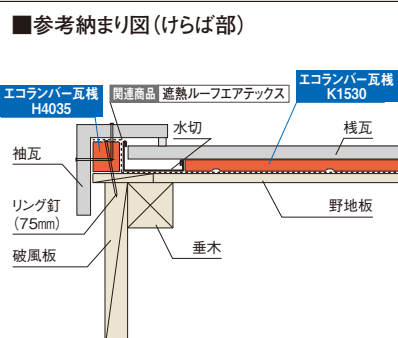
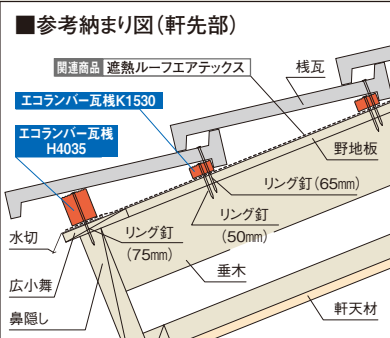
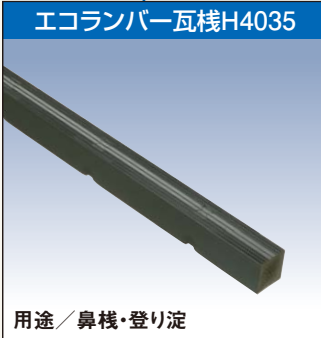
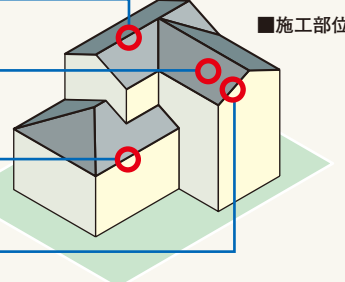
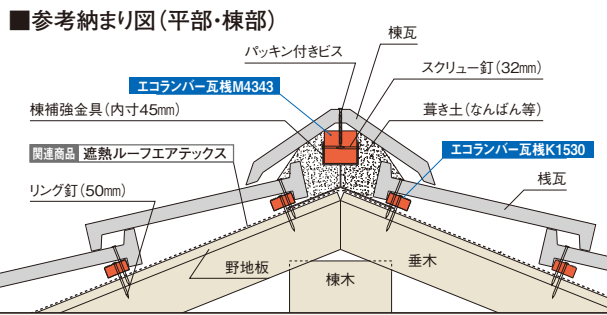
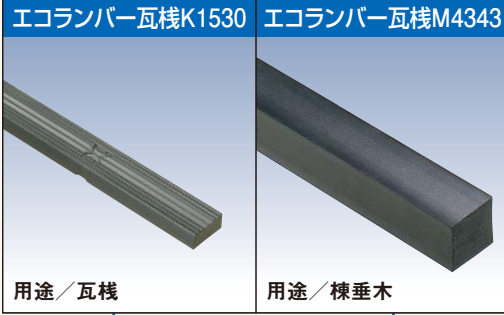


# 「粘土瓦屋根」に適した形状の腐朽しない樹脂製下地材。

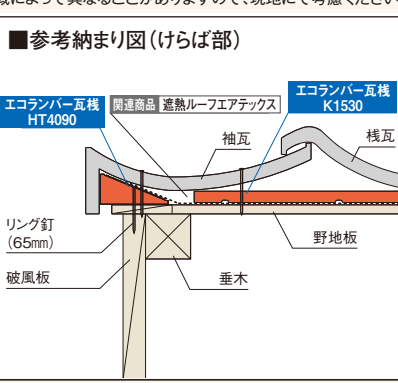
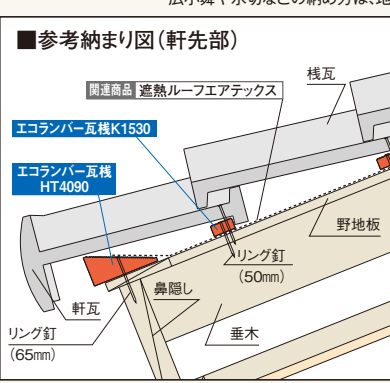
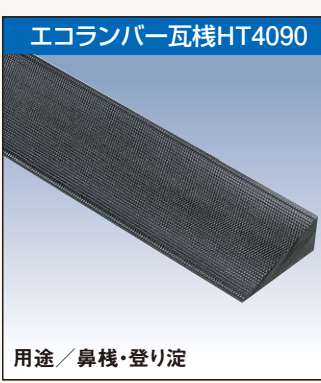
## 商品詳細

エコランバー瓦棧 K1530・H4035・HT4090・M4343

### ■粘土瓦屋根用



広小舞や水切などの納め方は、地域によって異なることがありますので、現地にて考慮ください。



広小舞や水切などの納め方は、地域によって異なることがありますので、現地にて考慮ください。

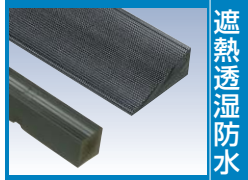
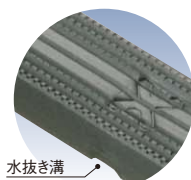
### ⚠注意 保管時のご注意

- 保管の際は、エコランバー自体の反り曲りを防止するため、日陰などの直射の当たらない場所に平置きしてください。

### ⚠注意 施工時のご注意

- 瓦棧M4343は、910mmピッチ以下で躯体に固定された棟金具に取付け、金具側面からスクリュー釘(32mm以上)で固定してください。
- 瓦棧M4343の端部は、必ず棟金具に取り付けてください。
- 棟芯には、なんばん・しづく等の葺き土を入れてください。
- 棟瓦を施工する際は、バッキン付きビスを使用し、ビスの先端が瓦棧M4343の深さ20mm以上に達するように、ビス打ちしてください。
- 瓦棧H4035は、リング釘(75mm以上)で@455mmピッチ以下となるように破風板(鼻隠し)に固定してください。
- 瓦棧HT4090はリング釘(65mm以上)で@455mmピッチ以下となるように破風板(鼻隠し)に固定してください。
- 瓦棧K1530は、垂木のピッチ(455mm以下)に合わせて、リング釘(50mm以上)で固定してください。
- 端部より10mmの位置に必ず釘を打ってください。10mm以内に打った場合、部材本体が破損することがあります。
- 瓦棧K1530・瓦棧H4035は、雨水が通る水抜き溝下部の防水シートに穴をあけないようにするため、水抜き溝上部の釘打ちNGマーク(×印)に釘を打たないでください。(右瓦棧K1530部分アップ写真参照)
- 瓦を施工する際は、瓦1枚に対し1本以上の釘を打ってください。
- 袖瓦を瓦棧H4035に施工する際は、釘の先端が瓦棧H4035の深さ30mm以上に達するように、袖瓦の側面から2箇所、上面から1箇所釘打ちしてください。

●NGマーク(×印)



遮熱透湿防水

## 屋根下地材

# エコランバー瓦棧

HK1530・H4035・HT4090・M4343

樹脂製屋根下地材

耐震制震 床基礎の気密断熱 遮熱透湿防水 開口住設備 換気システム 換気器材 スパンドレル 浴室水廻り 点検口枠 湯温下材 内装建材 養生保安 外装建材 左官資材 乾式・重床 引手受身 床仕上げ材 その他

粘土瓦 屋根用

材質 REPS

●掲載価格には消費税は含まれておりません。 ●商品の色は、印刷と実物の色調とでは多少異なる場合がありますのでご了承ください。 ●離島配送の際は別途運賃を申し受けます。対象地域につきましては弊社ホームページまたは最寄りの営業所にてご確認ください。